

一般社団法人 地盤品質判定士会

## 第2回 定時社員総会



日時：2021年6月14日

場所：オンライン総会

2021 年 5 月吉日

地盤品質判定士 地盤品質判定士補の皆様へ

一般社団法人 地盤品質判定士会  
理事長 北詰昌樹

2021 年度定時総会の開催について（ご案内）

拝啓 皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は地盤品質判定士会の活動に多大のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。  
さて、2021 年度定時総会を下記のとおり開催致しますので、ご案内申し上げます。

敬具

記

- 1 開催日時：2021 年 6 月 14 日（月）15 時 00 分～ 17 時 00 分
- 2 開催場所：東京都内  
（※総会時の議長の所在）
- 3 開催方法：オンライン会議  
（参加者）議決権者および関係者（社員・理事・監事・幹事長・事務局）  
参加希望者（別途、参加申し込みによる。締め切り 5 月 31 日）  
（※社員総会における議決権は、定款で定める社員が有しています。）
- 4 決議事項：（第 1 号議案） 2020 年度 決算に関する件  
（第 2 号議案） 2021 年度 事業計画に関する件  
（第 3 号議案） 2021 年度 収支予算に関する件  
※報告事項：2020 年度事業報告に関する件
- 5 参加方法：  
参加希望者は、①ご氏名、②ご所属、③E-mail アドレスを記載のうえ、総会受付窓口 (sokai@hanteishi.org) あてにメールでお申し込みください（締め切り 5 月 31 日）。受付は受付窓口からメールにて対応させていただきます。  
総会開催の約 1 週間前にオンライン参加用 URL (Zoom) を送信しますので、総会当日に URL からアクセスして参加願います。
- 6 その他  
本年度は、コロナ感染症増加のため、懇親会等のイベントは中止させていただきます。

以 上

1. 開会

2. 理事長挨拶

3. 議長選任

4. 議事録署名者選出

5. 報告事項

2020年度事業報告に関する件

6. 決議事項

(第1号議案) 2020年度 決算に関する件

(第2号議案) 2021年度 事業計画に関する件

(第3号議案) 2021年度 収支予算に関する件

7. 閉会

1. 開会（定款第 11 条 12 条 13 条 14 条）

2. 理事長挨拶

3. 議長選任（定款第 18 条）

議長 北詰 昌樹 （理事長）

4. 議事録署名者選出（定款第 19 条）

議事録署名者候補 小田部 雄二 （社員）

立花 秀夫 （社員）

議事録作成者候補 大串 豊 （総務企画副委員長）

総会の定足数及び議決数（定款第 15 条）

参加予定社員 小田部 雄二 （社員）

立花 秀夫 （社員）

奈須 徹夫 （社員）

定款第 15 条 社員総会の決議は、一般法人法に別段の定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席社員の議決権の過半数をもってこれを行う。

## 5. 報告事項

2020年度事業報告に関する件

2021年6月14日 定時社員総会資料

### 一般社団法人地盤品質判定士会 2020年度（令和2年度）事業報告（案）

#### **1. 地盤の評価に係る業務、並びに業務の斡旋**

- ①国・地方公共団体宅地防災事業（大規模盛土造成地変動予測調査）への支援・補助  
地方公共団体職員への斜面調査等に関する研修、地域住民への防災活動啓発等のサポート
  - ・宅地防災部創設（06/01）
  - ・地盤品質判定士会相談員登録規程の制定（運用開始：2021年4月1日）
  - ・横浜市：「災害に強い安全なまちづくりに係る協定書」 締結（10/26）
  - ・札幌市：「災害時における宅地の防災に資する業務（宅地防災業務）に係る協定」 締結（03/29）
  - ・逗子市：「宅地防災等に関する協定」 締結（03/11）
  - ・川崎市：「宅地防災等に関する協定」 締結（03/18）
- ②国・地方公共団体の新たな防災事業等への提案型アプローチ（コロナ感染症増大により締結止まり）

#### **2. 地盤品質に関する継続教育のための研究発表会、講習会等の開催及び支援**

##### **I 講習会等の開催**

- ①地盤品質セミナー
  - ・『地盤防災に関わる地盤品質判定士の役割と活動について』（02/26）
- ②地盤品質判定士のための住宅地盤の安全・安心講習会、スキルアップ講習会
  - ・『宅地地盤の品質評価に関する技術講習会2020』（09/09）
  - ・『住宅地盤の安全・安心講演会2020』（11/12）
  - ・宅地地盤の評価に関する最近の知見講習会『宅地防災』（12/15）
  - ・宅地地盤の評価に関する最近の知見講習会『小規模建築物の基礎と地盤』（01/27）
- ③宅地地盤の品質評価に関する技術講習会（検定試験受験対応講習会）
  - ・宅地地盤の品質評価に関する技術講習会 関西支部\_地盤工学研究会共催（9/1）
- ④相談員研修
  - ・相談員研修会（一般） 神奈川支部（第1回研修会）（07/30）
  - ・相談員研修会（一般） 神奈川支部（第2回研修会）（08/19）
  - ・相談員研修会（一般） 関西支部（01/09）
  - ・相談員研修会（一般） 宅地防災部（03/23）

##### **II 地盤工学研究発表会**

- ①地盤工学研究発表会 DS の企画・運営
  - ・DS10 地盤品質判定士への期待と将来の発展 11編（07/23）
- ②市民向け講習会（開催地の地盤工学会支部と連携）
  - ・コロナ感染症拡大により中止

### 3. 地盤品質に関する展示会、地盤相談会等の開催および支援

#### I 地盤相談会の開催

- ①個人対象一宅地地盤相談会（開催地の地盤工学会支部と連携）
  - ・コロナ感染症拡大により中止
- ②ホームページの宅地地盤相談フォーム運用・管理
  - ・相談案件数（135件）、対応数（78件）
- ③有料相談
  - ・有料相談案件数（16件）
  - ・受注額（697,550円）（43,597円/件）

### 4. 地盤品質に関する出版、技術開発・研究開発の推進及び支援

- ①技術指針の企画立案・研究
  - ・宅地防災注意喚起マンガ編纂「あなたの住む街のガケや擁壁を探検・パトロールしよう」  
日刊建設通信新聞社との共催・発刊（07/29）

### 5. 災害時対応

- ①災害対応規定の策定・災害協定への対応 発生なし
- ②災害情報収集
  - ・2021年2月13日 23:08頃の福島県沖地震(M7.3 暫定値)の地震被害調査
- ③災害調査団の結成 発生なし
- ④調査費用調達（寄付金/有料報告会開催） 発生なし
- ⑤災害調査の実施 発生なし
- ⑥災害報告会（無料・有料） 発生なし

### 6. 一般社団法人地盤品質判定士会の充実

#### I 地域連携

- ①支部の創設
  - ・中部支部設立準備委員会（支部設立予定：2021年4月20日）
- ②自治体との交流
  - ・自治体との交流を実施（大阪府/札幌市/熊本市/横浜市/逗子市/川崎市/相模原市/等）
  - ・「谷尾崎・池上地区地盤沈下等に関する専門家会議」委員への幹事派遣（熊本地震対策部会 09/30～）
  - ・厚真町ルーラルビレッジ住民からの協力要請に基づき、厚真町や専門委員会との協議に参加し、基本合意締結（北海道地震対策部会 10/16）
- ③相談会等の実施（地方公共団体、自治会、市民）
  - ・E&E・防災セミナー〔支部2020年度第3回研修会〕 かながわ県民センターとオンライン連携開催（神奈川支部 第1回10/15・第2回10/22・第3回10/29・第4回11/5・第5回11/12）
  - ・横浜市との支部登録相談員向け研修会・意見交換会の合同開催（12/11）
  - ・大阪府建築物対策推進協議会への参加および住宅地盤相談への対応（関西支部 2019年～継続中）
  - ・葛飾区液状化説明会（令和2年度木造住宅等の耐震助成・液状化及びブロック塀対策助成説明・相談会）への公募判定士の派遣（第1回9/5・第2回9/12・第3回9/19・第4回9/26・第5回10/3）

以上

<参考資料> 事業報告明細書

1.地盤の評価に係る業務、並びに業務の斡旋

事業報告明細書

件名	国・地方公共団体宅地防災事業（大規模盛土造成地変動予測調査）への支援・補助 宅地防災部創設		
日時	2020年6月1日	場所	本部（JGS会館内）
部門	宅地防災部	実施者	利藤 房男
<p>内容・成果</p> <p>名称：宅地防災部</p> <p>創設：2020年6月1日</p> <p>目的：国土交通省大規模盛土地盤耐震対策事業に対応するための組織として宅地防災部を設置した。</p> <p>位置づけ：幹事長直属の部署として設置し、「部」と呼称する。これに伴い細則を改定した。</p> <p>体制：部長 利藤房男（令和2年度）→門田浩一（令和3年度）</p>			
部員（企画担当）	門田 浩一	パシフィックコンサルタンツ(株)	
同上	佐藤 真吾	(株)復建技術コンサルタント	
部員（技術担当）	石橋 貢	MM コンサルタント(株)	
同上	川崎 始	(株)ジオ・シビル	
部員（総務担当）	松本 英樹	応用地質(株)	
部員（神奈川支部）	高橋 一紀	(株)カナコン	
同上	山田 岳峰	鹿島建設（株）	
部員（関西支部）	太田 英将	太田ジオリサーチ	
同上	中岡 時春	中岡技術士事務所	

1. 地盤の評価に係る業務、並びに業務の斡旋

事業報告明細書

件名	国・地方公共団体宅地防災事業（大規模盛土造成地変動予測調査）への支援・補助 地盤品質判定士会相談員登録規程の制定		
日時	2021年4月1日制定	場所	本部（JGS会館内）
部門	宅地防災部	実施者	石橋 貢
<p>内容・成果</p> <p>目的：地盤品質判定士に活動の場を提供、相談員の資質向上・相談回答の品質確保</p> <p>概要：相談員研修（一般）[一般市民からの投稿による宅地地盤に関わる相談]と相談員研修（公共） [大規模盛土造成地に関わる宅地耐震化推進事業に関連する住民相談]の2本立てで、地盤品質 判定士に講習し、所定の目的を講ずる。</p> <p>作業：相談員登録規程ワーキンググループによる作業を実施</p> <p>技術委員会：原 勝重委員長、石橋 貢（事務局）</p> <p>宅地防災部：門田浩一部長</p> <p>総務企画委員会：奈須徹夫委員長</p> <p>神奈川支部：立花秀夫支部長</p> <p>関西支部：中岡時春幹事長</p> <p>オブザーバー：中村裕昭理事</p> <p>最終確認者：利藤房男幹事長</p>			

## 1. 地盤の評価に係る業務、並びに業務の斡旋

事業報告明細書

件名	国・地方公共団体宅地防災事業（大規模盛土造成地変動予測調査）への支援・補助 横浜市：「災害に強い安全なまちづくりに係る協定書」 締結		
日時	2020年10月26日	場所	横浜市役所
部門	宅地防災部・神奈川支部	実施者	利藤 房男 立花 秀夫
<p>内容・成果</p> <p>先方：横浜市建築局 当方：一般社団法人地盤品質判定士会 締結：2020年10月26日（月） 期間：2020年10月26日から2022年3月末まで（両者同意にもとづき以降1年毎に更新） 内容：下記連携事項について協定を締結した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地盤品質判定士会の相談制度を用いた市民向けの専門家技術相談に関すること。</li> <li>・市民向けの防災啓発事業への協力に関すること。</li> <li>・市内の災害時における復旧支援の相談等に関すること。</li> </ul>			

## 1. 地盤の評価に係る業務、並びに業務の斡旋

事業報告明細書

件名	国・地方公共団体宅地防災事業（大規模盛土造成地変動予測調査）への支援・補助 札幌市：「災害時における宅地の防災に資する業務（宅地防災業務）に係る協定」 締結		
日時	2021年3月29日	場所	札幌市役所
部門	宅地防災部・北海道地震対策部会	実施者	利藤 房男 工藤 康雅
<p>内容・成果</p> <p>先方：札幌市都市局（市街地整備部宅地課） 当方：一般社団法人地盤品質判定士会 締結：2021年3月29日（月） 期間：2021年3月29日から2022年3月末まで（両者から申し出なければ以降1年毎に更新） 内容：下記業務について協定を締結した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災宅地危険度判定の実施方針の立案</li> <li>・被災宅地の現地確認への同行</li> <li>・大規模盛土造成地の防災に関する住民説明会へのオブザーバー参加</li> <li>・町内会の要請に基づく宅地に関する説明会および地域巡回への同行</li> </ul>			

## 1. 地盤の評価に係る業務、並びに業務の斡旋

事業報告明細書

件名	国・地方公共団体宅地防災事業（大規模盛土造成地変動予測調査）への支援・補助 逗子市：「宅地防災等に関する協定」 締結		
日時	2021年3月11日	場所	逗子市役所
部門	宅地防災部・神奈川支部・逗子部会	実施者	利藤 房男 立花 秀夫 高橋 一紀
<p>内容・成果</p> <p>先方：神奈川県逗子市（環境都市部都市整備課） 当方：一般社団法人地盤品質判定士会 締結：2021年3月11日 期間：2021年3月11日から2022年3月末まで（両者同意にもとづき以降1年毎に更新） 内容：協定の名称および協定で記載された業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地盤品質判定士会の相談制度等を用いた市民向けの宅地の地盤相談に関すること。</li> <li>・逗子市の市民向けの宅地防災に関する普及啓発事業等に関すること。</li> <li>・逗子市内の災害時における宅地の復旧支援の相談等に関すること。</li> <li>・その他、災害に強い、安全・安心なまちづくりに関すること。</li> </ul>			

## 1. 地盤の評価に係る業務、並びに業務の斡旋

事業報告明細書

件名	国・地方公共団体宅地防災事業（大規模盛土造成地変動予測調査）への支援・補助 川崎市：「宅地防災等に関する協定」 締結		
日時	2021年3月18日	場所	川崎市役所
部門	宅地防災部・神奈川支部	実施者	利藤 房男 立花 秀夫
<p>内容・成果</p> <p>先方：川崎市まちづくり局（指導部宅地企画指導課）          当方：一般社団法人地盤品質判定士会          締結：2021年3月18日          期間：2021年3月18日から2023年3月末まで          内容：下記業務について協定を締結した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎市の宅地防災に関する普及啓発事業等に関すること。</li> <li>・地盤品質判定士会の相談制度等を用いた市民向けの宅地地盤相談に関すること。</li> <li>・災害時における宅地の復旧支援に関すること。</li> <li>・その他、災害に強い安全・安心なまちづくりに関すること。</li> </ul>			

## 2. 地盤品質に関する継続教育のための研究発表会、講習会等の開催及び支援

事業報告明細書

件名	地盤品質セミナー 『地盤防災に関わる地盤品質判定士の役割と活動について』		
日時	2021年2月26日	場所	オンライン開催
部門	技術委員会	実施者	原 勝重
<p>内容・成果</p> <p>日時：2021年2月16日(火) 10:00～17:00          場所：オンライン (Zoom ウェビナー)          参加：141名          題目：1. 開会挨拶及び地盤品質判定士会の法人化について (北詰 昌樹)          2. 話題提供(1) -宅地耐震化事業に関して          　・(仮) 宅地耐震化事業について (井上 洋之)          　・宅地耐震化事業に関わる地盤品質判定士の役割と活動 (利藤 房男)          　・大規模盛土造成地の滑動崩落対策に関する基礎知識 (門田 浩一)          3. キーノートレクチャー          　・平成30年北海道胆振東部地震による地盤災害について (石川 達也)          4. 話題提供(2) -北海道胆振東部地震による宅地地盤被害に関して          　・札幌市清田区里塚地区の造成宅地被害について (佐藤 真吾)          　・札幌市清田区里塚地区における再度災害防止対策について (佐々木 将仁)          　・札幌市清田区里塚地区市街地復旧対策工事について (堤 彩人)          5. 話題提供(3) -一般社団法人地盤品質判定士会の活動実績を踏まえて判定士の役割を考える          　・判定士会北海道部会の活動報告(北海道胆振東部地震による宅地地盤被害の対応事例) (工藤 康雅)          　・判定士会熊本部会の活動報告(熊本地震地震による宅地地盤被害の対応事例) (田尻 雅則)          　・判定士会神奈川支部の活動報告 (立花 秀夫)          　・判定士会関西支部の活動報告 (太田 英将)          6. パネルディスカッション          　メインテーマ：宅地耐震化事業に関する展望と地盤品質判定士の活動の方向性について          　コーディネーター (利藤 房男)          7. 閉会の挨拶(桑野 玲子)</p>			

## 2. 地盤品質に関する継続教育のための研究発表会、講習会等の開催及び支援

事業報告明細書

件名	地盤品質判定士のための住宅地盤の安全・安心講習会、スキルアップ講習会『宅地地盤の品質評価に関する技術講習会 2020』		
日時	2020年9月9日	場所	オンライン開催
部門	技術委員会	実施者	藤田 安秀
<p>内容・成果</p> <p>日時：2020年9月9日（木）9:00～17:00</p> <p>場所：オンライン（Zoom ウェビナー）</p> <p>参加：67名</p> <p>題目：1. 地形・地質・地盤の調査，土砂災害（藤田 安秀）</p> <p>2. 地盤の液化化（尾上 篤生）</p> <p>3. 住宅等（小規模建築物）の基礎（品川 恭一）</p> <p>4. 宅地の造成，土砂災害に関わる法制度，技術者倫理（立花 秀夫）</p> <p>5. 盛土・切土と擁壁の安定性（松下 克也）</p>			

## 2. 地盤品質に関する継続教育のための研究発表会、講習会等の開催及び支援

事業報告明細書

件名	地盤品質判定士のための住宅地盤の安全・安心講習会、スキルアップ講習会『住宅地盤の安全・安心講演会 2020』		
日時	2020年11月12日	場所	オンライン開催
部門	技術委員会	実施者	澤田 俊一
<p>内容・成果</p> <p>日時：2020年11月12日（木）9:30～16:40</p> <p>場所：オンライン（Zoom ウェビナー）</p> <p>参加：48名</p> <p>題目：1. 大規模盛土造成地の被害と地盤リスクに関する最近の知見（佐藤 真吾）</p> <p>2. 大規模盛土造成地変動予測調査事業における地盤品質判定士の新たな役割（門田 浩一）</p> <p>3. 赤色立体地図で変わる地形解析（千葉 達朗）</p> <p>4. 関東の更新統に関する最近の知見 ～台地は必ずしも良好地盤とは限らない～（遠藤 邦彦）</p>			

## 2. 地盤品質に関する継続教育のための研究発表会、講習会等の開催及び支援

事業報告明細書

件名	地盤品質判定士のための住宅地盤の安全・安心講習会、スキルアップ講習会『宅地地盤の評価に関する最近の知見講習会『宅地防災』』		
日時	2020年12月15日	場所	オンライン開催
部門	技術委員会	実施者	中村 裕昭
<p>内容・成果</p> <p>日時：2020年12月15日（火）9:20～17:00</p> <p>場所：オンライン（Zoom ウェビナー）</p> <p>参加：32名</p> <p>題目：1. 限られた情報からの科学的な結論の導き方と工学的判断における技術者倫理の重要性（岩尾 雄四郎）</p> <p>2. 擁壁設計の基本と既存擁壁安定評価のポイント（右城 猛）</p> <p>3. 宅地防災における宅地造成等規制法のポイント（西村 真二）</p> <p>4. 地盤に起因するトラブル事例と地形・地質（稲垣 秀輝）</p> <p>5. 災害誘因となる気象現象に関する最近の知見（山川 修治）</p> <p>6. 宅地の防災学（釜井 俊孝）</p>			

## 2. 地盤品質に関する継続教育のための研究発表会、講習会等の開催及び支援

事業報告明細書

件名	地盤品質判定士のための住宅地盤の安全・安心講習会、スキルアップ講習会 宅地地盤の評価に関する最近の知見講習会『小規模建築物の基礎と地盤』		
日時	2021年1月27日	場所	オンライン開催
部門	技術委員会	実施者	中村 裕昭
<p>内容・成果</p> <p>日時：2021年1月27日（火） 9:20～17:00</p> <p>場所：オンライン（Zoom ウェビナー）</p> <p>参加：37名</p> <p>題目：1. 建築基礎と地盤における小規模建築物の特徴と課題（二木 幹夫）  2. 建築の基礎と地盤に関わる用語について（杉村 義広）  3. 小規模建築物基礎の最近の知見（佐藤 実）  4. 小規模建築物を対象とした地盤調査方法の最近の知見（大島 昭彦）  5. 小規模建築物を対象としたコンクリート杭の実情と課題（菊地 朋貴）  6. 小規模建築物の基礎と地盤のトラブル事例（大和 眞一）</p>			

## 2. 地盤品質に関する継続教育のための研究発表会、講習会等の開催及び支援

事業報告明細書

件名	宅地地盤の品質評価に関する技術講習会（検定試験受験対応講習会） 宅地地盤の品質評価に関する技術講習会 関西支部_地盤工学研究会共催		
日時	2020年9月1日	場所	オンライン開催
部門	関西支部	実施者	大島 昭彦
<p>内容・成果</p> <p>日時：2020年9月1日（火） 9:00～17:10</p> <p>場所：オンラインセミナー（Zoom ウェビナー）</p> <p>参加：46名</p> <p>内容：1. 開会の挨拶（大島 昭彦）  2. 住宅等（小規模建築物）の基礎（深井 公）  3. 地盤の液状化（大島 昭彦）  4. 地質・地形・地盤の調査，土砂災害（八谷 誠）  5. 擁壁の安定（太田 英将）  6. 盛土・切土の安定（久保田 耕司）  7. 宅地の造成，土砂災害に関わる法制度，技術者倫理（中岡 時春）</p>			

## 2. 地盤品質に関する継続教育のための研究発表会、講習会等の開催及び支援

事業報告明細書

件名	相談員研修 相談員研修会（一般） 神奈川支部（第1回研修会）		
日時	2020年7月30日	場所	横浜市社会福祉センター+オンライン開催
部門	神奈川支部	実施者	立花 秀夫
<p>内容・成果</p> <p>日時：2020年7月30日（木） 14:45～16:45</p> <p>場所：横浜市社会福祉センター9F（901・902 会議室） +オンライン講座（Zoom）</p> <p>参加：27名（講師2名、会場13名、オンライン12名）</p> <p>題目：1. 神奈川支部の最近の活動状況と期待～令和元年台風第19号被災時の相模原市民相談を中心に（神奈川支部長 立花 秀夫）  2. 宅地耐震化推進事業の新たな施策における地盤品質判定士の役割（パシフィックコンサルタンツ 門田 浩一）</p>			

## 2. 地盤品質に関する継続教育のための研究発表会、講習会等の開催及び支援

事業報告明細書

件名	相談員研修 相談員研修会（一般） 神奈川支部（第2回研修会）		
日時	2020年8月19日	場所	横浜市社会福祉センター+オンライン開催
部門	神奈川支部	実施者	立花 秀夫
<p>内容・成果</p> <p>日時：2020年8月19日（水）13:00～17:00</p> <p>場所：横浜市社会福祉センター9F 会議室 +オンライン（Zoom ウェビナー）</p> <p>参加：24名（講師3名、会場11名、オンライン6名、運営4名）</p> <p>題目：1. 市民相談の流れと心がけ（立花 秀夫） 2. 戸建地盤調査・改良の実態（福田 靖浩） 3. 宅地相談に関わる法律・基準等の留意事項（中村 裕昭）</p>			

## 2. 地盤品質に関する継続教育のための研究発表会、講習会等の開催及び支援

事業報告明細書

件名	相談員研修 相談員研修会（一般） 関西支部		
日時	2021年1月9日	場所	オンライン開催
部門	関西支部	実施者	大島 昭彦
<p>内容・成果</p> <p>日時：2021年1月9日（土）13:00～17:00</p> <p>場所：オンライン開催（Zoom ウェビナー）</p> <p>参加：83名</p> <p>内容：1. 開催挨拶（大島 昭彦） 2. 市民相談の流れと相談員の心構え（中岡 時春） 3. 相談員に求められる知識とツール（太田 英将） 4. 沈下修復工事の工法の紹介（諏訪 靖二） 5. 宅地相談に関わる法令・基準（深井 公） 6. 相談制度全般の質疑</p>			

## 2. 地盤品質に関する継続教育のための研究発表会、講習会等の開催及び支援

事業報告明細書

件名	相談員研修 相談員研修会（一般） 技術委員会		
日時	2021年3月23日	場所	オンライン開催
部門	技術委員会	実施者	石橋 貢
<p>内容・成果</p> <p>日時：2021年3月23日（火）13:20～17:00</p> <p>場所：オンライン開催（Zoom ウェビナー）</p> <p>参加：57名（受講修了者）</p> <p>内容：1. 開催挨拶（原 勝重） 2. 市民相談の流れと相談員の心構え（立花 秀夫） 3. 戸建て地盤調査・地盤改良の実態（福田 靖浩） 4. 宅地相談に関わる法令・基準（中村 裕昭） 5. 相談制度全般の質疑</p>			

## 2. 地盤品質に関する継続教育のための研究発表会、講習会等の開催及び支援

事業報告明細書

件名	地盤工学研究発表会 DS の企画・運営 DS10 地盤品質判定士への期待と将来の発展		
日時	2020年7月23日	場所	オンライン開催
部門	技術委員会	実施者	利藤 房男 森 友宏
内容・成果	<p>日時：2020年7月23日（木）09:10～11:40 場所：DS10 オンライン開催 Zoom2 内容：下記の11編について出展・発表した。</p> <p>地盤品質判定士への期待と将来の発展 座長：北詰昌樹（東京工業大学）</p> <p>[DS-10-01] 地盤品質判定士会の活動と将来の発展 北詰 昌樹 [DS-10-02] 住宅沈下が多発する関東地方の台地谷部における腐植土の特徴と地盤対策方法 菱沼 登 [DS-10-03] 盛土造成地における地すべり的変形被害の発生要因及び被害予測指標の考察 門田 浩一ほか [DS-10-04] 北海道胆振東部地震における札幌市里塚地区の造成宅地被害について 佐藤 真吾ほか [DS-10-05] 札幌市清田区里塚地区における再度災害防止対策 佐々木 将仁ほか [DS-10-06] 清田区里塚地区市街地復旧工事における地盤工学的課題—薬液注入工編— 堤 彩人ほか [DS-10-07] 清田区里塚地区市街地復旧工事における設計・施工上の課題—深層混合処理工編— 山本 敦ほか [DS-10-08] 台風災害における地盤品質判定士の支援活動事例 ～令和元年台風第19号（令和元年東日本台風）被害に伴う相模原市「住まいの地盤相談窓口」～ 立花 秀夫ほか [DS-10-09] 地盤品質判定士から見た相談に際しての地盤に係るチェックポイント 藤原 照幸ほか [DS-10-10] 地盤品質判定士会関西支部が対応した相談事例について 太田 英将ほか [DS-10-11] 地盤品質判定士の最近の動向と今後の展開に関する私見 小田部 雄二</p>		

## 2. 地盤品質に関する継続教育のための研究発表会、講習会等の開催及び支援

事業報告明細書

件名	地盤工学研究発表会 市民向けイベント 市民向け講習会（開催地の地盤工学会支部と連携）		
日時	2020年7月23日（予定）	場所	京都市内
部門	関西支部	実施者	中岡 時春
内容・成果	<p>京都地区での講習会を地盤工学会関西支部との共催にて計画していたが、コロナ感染症増大により中止。</p>		

## 3. 地盤品質に関する展示会、地盤相談会等の開催および支援

事業報告明細書

件名	地盤相談会の開催																																																																																																																												
日時	2020年4月1日～2021年3月31日		場所	ホームページ、現地踏査他																																																																																																																									
部門	技術委員会		実施者	原 勝重																																																																																																																									
内容・成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>計算</th> <th>全体</th> <th>本部</th> <th>神奈川</th> <th>関西</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">問い合わせ件数</td> <td>ホームページ</td> <td>①</td> <td>101</td> <td>38</td> <td>49</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>②</td> <td>34</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>③=①+②</td> <td>135</td> <td>42</td> <td>52</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">対応件数</td> <td>ホームページ</td> <td>④</td> <td>61</td> <td>11</td> <td>40</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>⑤</td> <td>17</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>⑥=④+⑤</td> <td>78</td> <td>12</td> <td>43</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>未成立/対応拒否</td> <td></td> <td>⑦</td> <td>19</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>対応対象件数</td> <td></td> <td>⑧=③-⑦</td> <td>116</td> <td>32</td> <td>43</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>対応率</td> <td></td> <td>⑨=⑥/⑧×100</td> <td>67.2</td> <td>37.5</td> <td>100.0</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">斡旋件数</td> <td>支部へ</td> <td>⑩</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>判定士へ</td> <td>⑪</td> <td>44</td> <td>0</td> <td>43</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>企業・団体へ</td> <td>⑫</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>⑬=⑩+⑪+⑫</td> <td>64</td> <td>20</td> <td>43</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>有料相談件数</td> <td></td> <td>⑭</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>請求額</td> <td></td> <td>⑮</td> <td>697,550</td> <td>181,500</td> <td>431,350</td> <td>84,700</td> </tr> <tr> <td>有料化率</td> <td></td> <td>⑯=⑭/⑬×100</td> <td>13.8</td> <td>18.8</td> <td>20.9</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>1件あたり請求額</td> <td></td> <td>⑰=⑮/⑬</td> <td>43,597</td> <td>30,250</td> <td>47,928</td> <td>84,700</td> </tr> </tbody> </table>						項目	区分	計算	全体	本部	神奈川	関西	問い合わせ件数	ホームページ	①	101	38	49	14	その他	②	34	4	3	27	計	③=①+②	135	42	52	41	対応件数	ホームページ	④	61	11	40	10	その他	⑤	17	1	3	13	計	⑥=④+⑤	78	12	43	23	未成立/対応拒否		⑦	19	10	9	0	対応対象件数		⑧=③-⑦	116	32	43	41	対応率		⑨=⑥/⑧×100	67.2	37.5	100.0	56	斡旋件数	支部へ	⑩	20	20	0	0	判定士へ	⑪	44	0	43	1	企業・団体へ	⑫	0	0	0	0	計	⑬=⑩+⑪+⑫	64	20	43	1	有料相談件数		⑭	16	6	9	1	請求額		⑮	697,550	181,500	431,350	84,700	有料化率		⑯=⑭/⑬×100	13.8	18.8	20.9	2.4	1件あたり請求額		⑰=⑮/⑬	43,597	30,250	47,928	84,700
項目	区分	計算	全体	本部	神奈川	関西																																																																																																																							
問い合わせ件数	ホームページ	①	101	38	49	14																																																																																																																							
	その他	②	34	4	3	27																																																																																																																							
	計	③=①+②	135	42	52	41																																																																																																																							
対応件数	ホームページ	④	61	11	40	10																																																																																																																							
	その他	⑤	17	1	3	13																																																																																																																							
	計	⑥=④+⑤	78	12	43	23																																																																																																																							
未成立/対応拒否		⑦	19	10	9	0																																																																																																																							
対応対象件数		⑧=③-⑦	116	32	43	41																																																																																																																							
対応率		⑨=⑥/⑧×100	67.2	37.5	100.0	56																																																																																																																							
斡旋件数	支部へ	⑩	20	20	0	0																																																																																																																							
	判定士へ	⑪	44	0	43	1																																																																																																																							
	企業・団体へ	⑫	0	0	0	0																																																																																																																							
	計	⑬=⑩+⑪+⑫	64	20	43	1																																																																																																																							
有料相談件数		⑭	16	6	9	1																																																																																																																							
請求額		⑮	697,550	181,500	431,350	84,700																																																																																																																							
有料化率		⑯=⑭/⑬×100	13.8	18.8	20.9	2.4																																																																																																																							
1件あたり請求額		⑰=⑮/⑬	43,597	30,250	47,928	84,700																																																																																																																							

4. 地盤品質に関する出版、技術開発・研究開発の推進及び支援

事業報告明細書

件名	技術指針の企画立案・研究 宅地防災注意喚起マンガ編纂「あなたの住む街のガケや擁壁を探検・パトロールしよう」		
日時	2020年7月29日	場所	建設通信新聞紙面
部門	広報委員会	実施者	伊東 広敏
内容・成果	<p>日刊建設通信新聞社との共催にて発刊 先方：日刊建設通信新聞社 田嶋記者</p> 		

5. 災害時対応

事業報告明細書

件名	災害情報収集 2021年2月13日 23:08頃の福島県沖地震(M7.3 暫定値)の地震被害調査		
日時	2021年2月14日～21日	場所	福島県(郡山市・相馬市・二本松市)
部門	技術委員会	実施者	原 勝重 佐藤 真吾
内容・成果	<p>下記の地震に対して、災害調査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発災：2021年2月13日 23:08頃</li> <li>・震源：福島県沖地震 ・震度：M7.3</li> <li>・実施者：佐藤 真吾幹事 原 勝重幹事</li> </ul> <p>調査地域は下記のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月14日：福島県相馬市 住宅地(尾浜地区・栗津地区・柏崎地区ほか)</li> <li>・2月21日：福島県郡山市 郡山中央図書館・郡山市水道局ほか</li> <li>・2月21日：福島県二本松市 エビスサーキット</li> </ul> <p>同行者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北大学：風間 基樹教授 森口 周二准教授</li> <li>・日本大学：中村 英夫教授 仙頭 紀明教授</li> <li>・技術士会：島 良一 福島支部長</li> </ul>		

## 6. 一般社団法人地盤品質判定士会の充実

事業報告明細書

件名	支部の創設 中部支部設立準備委員会（支部設立：2021年4月20日）		
日時	2021年4月1日創設	場所	名古屋大減災連携研究センター
部門	中部支部設立準備委員会	実施者	利藤 房男
<p>内容・成果</p> <p>設立総会：2021年4月20日</p> <p>場所：名古屋大減災連携研究センター（名古屋市千種区）</p> <p>支部幹事：17名</p> <p>組織：支部長 利藤 房男 副支部長兼幹事長 桃井 信也 顧問 谷口 一平 向井 克之</p> <p>活動範囲：愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県（第3条に示す）</p> <p>目的：本支部は、住宅及び宅地の安全と防災に貢献するため、第3条に示す地域で活動する地盤品質判定士の相互支援および資質の向上に努めるとともに、一般市民への啓発を図るとともに、自治体と連携・協働することを目的とする。</p>			

## 6. 一般社団法人地盤品質判定士会の充実

事業報告明細書

件名	自治体との交流 自治体との交流（大阪府／札幌市／熊本市／横浜市／逗子市／川崎市／相模原市／等）		
日時	2020年度	場所	下記のとおり
部門	下記のとおり	実施者	下記のとおり
<p>内容・成果</p> <p>下記のとおり自治体との交流を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川支部 神奈川県／横浜市／逗子市／川崎市／相模原市</li> <li>・関西支部 大阪府（一般財団法人 大阪建築防災センター）</li> <li>・北海道地震対策部会 北海道／札幌市</li> <li>・熊本地震対策部会 熊本県／熊本市</li> </ul> <p>概要</p> <p>神奈川支部では、地方自治体との宅地防災等協定の締結およびHP相互リンクなどを実施。</p> <p>関西支部では、大阪府建築物対策推進協議会の住宅地盤相談についての委託が定型化された。</p> <p>北海道地震対策部会では、厚真町ルーラルビレッジ住民からの協力要請に基づき、厚真町や専門委員会との協議に参加し、基本合意締結（10/16）するなど関与している。</p> <p>熊本地震対策部会では、「谷尾崎・池上地区地盤沈下等に関する専門家会議」委員への田上裕幹事の派遣（09/30～）などを行った。</p>			

## 6. 一般社団法人地盤品質判定士会の充実

事業報告明細書

件名	相談会等の実施（地方公共団体、自治会、市民） E & E・防災セミナー		
日時	5回開催 下記のとおり	場所	神奈川県民センター＋オンライン開催
部門	神奈川支部	実施者	立花 秀夫
<p>内容・成果</p> <p>共同開催者：共同主催：NPOブルーアース</p> <p>E &amp; E・防災セミナーをかながわ県民センターとオンライン連携にて5回にわたり開催した（各回のテーマは下記のとおり）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月15日（木）第1回 地球環境変化が地盤災害に与える影響を考える</li> <li>・10月22日（木）第2回 横浜市内の崖地を見て対策を学ぶ（崖地野外巡検）</li> <li>・10月29日（木）第3回 災害を実感し防災・減災を考える （市民防災センターでの災害危険性の体感）</li> <li>・11月 5日（木）第4回 防災対策の研究最前線を知る （横浜市金沢区福浦地区の復旧護岸見学）</li> <li>・11月12日（木）第5回 地球環境と災害に向き合う</li> </ul> <p>参加者：延べ147名（会場77名、オンライン70名）</p>			

6. 一般社団法人地盤品質判定士会の充実

事業報告明細書

件名	相談会等の実施（地方公共団体、自治会、市民） 横浜市との支部登録相談員向け研修会・意見交換会の合同開催		
日時	2020年12月11日	場所	横浜市役所
部門	神奈川支部	実施者	立花 秀夫
内容・成果	支部登録相談員向け研修会・意見交換会 横浜市建築防災課及び横浜市建築事務所協会と合同で開催 参加者：横浜市5名、建築事務所協会2名、判定士会神奈川支部10名 主な項目： <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市の崖地総合対策について</li> <li>・土砂災害特別警戒区域内の規制について</li> <li>・令和2年度建築基準条例の実務（建築企画課）</li> </ul>		

6. 一般社団法人地盤品質判定士会の充実

事業報告明細書

件名	相談会等の実施（地方公共団体、自治会、市民） 大阪府建築物対策推進協議会への参加および住宅地盤相談への対応		
日時	2019年度から継続中	場所	一般財団法人大阪建築防災センター
部門	関西支部	実施者	大島 昭彦
内容・成果	大阪建築物震災対策推進協議会 目的：①既存建築物等の耐震性向上についての公民の連携による普及啓発等に関する事業 ②被災建築物等の応急危険度判定の実施体制の整備等に関する事業 ③その他、建築物等の震災対策に関すること。 組織： <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政会員 大阪府及び府内の市町村 (44団体)</li> <li>・建築団体 一般社団法人地盤品質判定士会 関西支部 所属 (31団体)</li> <li>・事業者団体 (18団体)</li> </ul> [事務局] 一般財団法人大阪建築防災センター 〒540-0012 大阪府大阪市中央区谷町 3-1-7		

6. 一般社団法人地盤品質判定士会の充実

事業報告明細書

件名	相談会等の実施（地方公共団体、自治会、市民） 葛飾区液状化説明会								
日時	下記のとおり	場所	葛飾区内 地区センター						
部門	技術委員会	実施者	公募判定士（下記のとおり）						
内容・成果	令和2年度木造住宅等の耐震助成・液状化及びブロック塀対策助成説明・相談会において、公募判定士が液状化の説明、地盤調査、液状化対策工事に関する個別相談に対応。区担当者より、区内での建替え・新築件数の増加により、相談会参加者が増加。好評につき、来年度以降も協力依頼あり。								
	日付	会場	担当者(敬称略)	参加者(住民)					
		センター	区役所	建築士	判定士	合計	個別相談	内液状化	内ブロック塀
第1回	9月5日(土)	AM 堀切	3名	5名	中村 石橋	16組20名	7組延8件	1名	3名
		PM お花茶屋	2名	5名	中村 石橋	9組9名	3組	0名	1名
第2回	9月12日(土)	AM 高砂	2名	5名	立花 石野	19組23名	5組	2名	4名
		PM 青戸	2名	5名	立花 石野	9組10名	3組	1名	1名
第3回	9月19日(土)	AM 金町	2名	5名	酒井 神山	16組18名	12組	3名	5名
		PM 亀有	2名	5名	酒井 神山	19組22名	7組	1名	5名
第4回	9月26日(土)	AM 新小岩北	2名	5名	掛川 糸	12組14名	5組	1名	2名
		PM 新小岩北	2名	5名	掛川 糸	6組7名	2組	0名	2名
第5回	10月3日(土)	AM 東立石	2名	5名	菱沼 小川	8組8名	4組	0名	3名
		PM 東四つ木	2名	5名	菱沼 小川	4組6名	4組	3名	1名

6. 決議事項

(第1号議案) 2020年度 決算に関する件 (定款第14条)

# 決 算 報 告 書

第 1 期

自 2020年 4月 1日

至 2021年 3月31日

一般社団法人地盤品質判定士会

# 貸借対照表

一般社団法人地盤品質判定士会

[税込] (単位: 円)  
2021年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
(現金・預金)		未払法人税等	143,700
判定士会 預金	1,885,090	流動負債 計	143,700
現金・預金 計	1,885,090	<b>負債の部合計</b>	<b>143,700</b>
流動資産合計	1,885,090	<b>純 資 産 の 部</b>	
		<b>【株主資本】</b>	
		(利益剰余金)	
		[その他利益剰余金]	
		繰越利益剰余金	1,741,390
		利益剰余金 計	1,741,390
		株主資本 計	1,741,390
		<b>純資産の部合計</b>	<b>1,741,390</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>1,885,090</b>	<b>負債・純資産の部合計</b>	<b>1,885,090</b>

# 損 益 計 算 書

[税込] (単位：円)

一般社団法人地盤品質判定士会

自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月31日

<b>【売上高】</b>		
講習会・セミナー受講料	1,861,000	
相談員研修会受講料	702,000	
相談料（個人）	697,550	
地方公共団体受託料（公共）	242,000	
広告・寄付金	971,838	
寄付金収入	1,553,417	
売上高 計	6,027,805	6,027,805
<b>【売上原価】</b>		
期首商品・製品棚卸高	0	
当期商品仕入高	0	
合 計	0	
期末商品・製品棚卸高	0	
売上原価 計	0	0
売上総利益		6,027,805
<b>【販売費一般管理費】</b>		
（人件費）		
人件費 計	1,174,374	
（その他経費）		
その他経費 計	2,968,351	
販売費・一般管理費計	4,142,725	
営業利益		1,885,080
<b>【営業外収益】</b>		
受取 利息	10	
営業外収益 計	10	
<b>【営業外費用】</b>		
営業外費用 計	0	
経常利益		1,885,090
<b>【特別利益】</b>		
特別利益 計	0	
<b>【特別損失】</b>		
特別損失 計	0	
税引前当期純利益(損失)		1,885,090
法人税、住民税及び事業税		143,700
当期純利益（損失）		1,741,390

# 販売費及び一般管理費内訳書

[税込] (単位：円)

一般社団法人地盤品質判定士会

自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月31日

(人件費)	
講師謝金・運営費	178,230
相談員研修会謝金・運営費	132,986
相談員謝金(個人)	703,868
受託判定士謝金・運営費(公共)	159,290
人件費計	<u>1,174,374</u>
(その他経費)	
広告宣伝費(HP更新保守印刷)	825,550
支部支援費(HP制作、設立総会他)	44,185
通信費(DM郵送料、Zoom、共有サーバー)	146,173
会議室使用料	29,330
旅費交通費	10,310
雑費(事務消耗品名刺作成他)	86,536
支払手数料(振込手数料)	50,930
総務企画事業支出(保安具)	383,440
納税	159,243
事務経費	951,700
支払報酬(会計士)	280,954
その他経費計	<u>2,968,351</u>
販売費・一般管理費計	<u><u>4,142,725</u></u>

## 2020年度 収支計算報告

区分	項目	予算	実績	増減	実績内訳
収入	<b>1. 事業費</b>				
	(1) 技術推進事業				
	①年次活動報告会	1,000,000	896,000	-104,000	地盤品質セミナー(896,000)
	②技術講習会・講演会	2,000,000	965,000	-1,035,000	受験者対策(529,000)、安全安心(436,000)
	③相談員研修会	200,000	702,000	502,000	神奈川(126,000)・関西支部(332,000)・本部(244,000)
	(2) 受託事業				
	①個人相談	200,000	697,550	497,550	神奈川(431,350)、関西(今年度分84,700)、本部(181,500)
	②地方公共団体受託事業		242,000	242,000	葛飾区液状化対策相談会
	<b>2. 広告・寄付金</b>				
	①協賛広告	800,000	330,000	-470,000	地盤品質セミナー協賛広告(総務・技術企画事業)
②クラウドファンディング		540,000	540,000	保安用具製作(総務企画事業)	
③他学協会協賛協力活動		101,838	101,838	関西JGS講習会協力金(収益折半)	
<b>3. その他</b>					
①支部財産移動		152,783	152,783	神奈川支部の残余財産の本部口座移動	
②利息		10	10		
小計	4,200,000	4,627,181	427,181		
<b>4. 繰越金</b>		1,400,000	1,400,634	634	判定士会残余財産寄付・支部預り金(関西:160,584、神奈川:181,910)
計	5,600,000	6,027,815	427,815		
支出	<b>1. 事業費</b>				
	(1) 人件費				
	①講師謝金		311,216		受験(63,578)、安全(59,264)、セミナー(55,388)、神奈川(54,774)、関西(45,887)、本部(32,325)
	②相談員謝金(個人)	1,000,000	703,868	174,374	神奈川(350,081)、関西(2年分207,113)、本部(146,674)
	③受託謝金(地方公共団体)		159,290		葛飾区液状化対策説明会・相談会
	(2) その他経費				
	①広告宣伝費(広報費)	1,300,000	825,550	-474,450	HP製作(660,880)保守(108,350)、リーフ作成(56,320)
	②支部支援費	400,000	44,185	-355,815	神奈川支部チラシ印刷、研修会経費
	③通信費	200,000	146,173	-53,827	DM費・郵送料(44,497)、Zoom(52,176)、共有サーバ(49,500)
	④会議室使用料		29,330		JGS会議室、貸会議室
	⑤旅費交通費	300,000	10,310	-122,894	
	⑥雑費		86,536		事務消耗品、名刺作成他
	⑦支払手数料		50,930		振込手数料
	⑧総務企画事業支出	0	383,440	383,440	保安具製作(383,440)
	⑨納税	70,000	159,243	89,243	謝金等納税(159,243)
	⑩予備費	300,000	0	-300,000	災害対応含む
	<b>2. 管理費</b>				
①事務局経費	900,000	951,700	51,700	JAGE経費(月額75,000)、WEB口座手数料(3,300/月×9)、神奈川事務経費22,000	
②支払報酬(会計士他)	264,000	280,954	16,954	税理士(役員登記41,458)、会計士(半期119,748×2)	
③支払報酬(顧問弁護士)		0			
計	4,734,000	4,142,725	-591,275		
収支	次年度繰越金	866,000	1,885,090	1,019,090	

一般社団法人 地盤品質判定士会

理事長 北詰 昌樹 殿

2021年5月14日

一般社団法人 地盤品質判定士会

監事 岸田隆夫 

2020年4月1日から2021年3月31日までの2020年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

## 1 監査の方法

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧などの必要な監査手続きを実施するとともに、会計担当者から会計に関しての報告を受け、計算書類について検討を加えた。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧などの必要な監査手続きを実施することによって業務執行の妥当性を検討した。

## 2 監査結果

- (1) 2020年度の貸借対照表、損益計算書及び収支計算報告は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく示していると認める。
- (2) 2020年度の事業報告書の内容は適正であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する事実はないと認める。

以上

**一般社団法人地盤品質判定士会 2021年度（令和3年度）事業計画（案）**

**1. 地盤の評価に係る業務、並びに業務の斡旋**

- ①国・地方公共団体宅地防災事業（大規模盛土造成地変動予測調査）への支援・補助
  - ・地方公共団体職員への斜面調査等に関する研修、地域住民への防災活動啓発等のサポート
- ②国・地方公共団体の新たな防災事業等への提案型アプローチ
  - ・主要な市町村道路・県道路に面している、全国の危険な民地斜面調査の予算化、地方公共団体への補助

**2. 地盤品質に関する継続教育のための研究発表会、講習会等の開催及び支援**

**I 講習会等の開催**

- ①地盤品質セミナー
- ②地盤品質判定士のための住宅地盤の安全・安心講演会
- ③宅地地盤の品質評価に関する技術講習会（検定試験受験対応講習会）
- ④相談員研修
- ⑤地盤品質判定士一次試験 受験資格付与講習会

**II 地盤工学研究発表会**

- ①地盤工学研究発表会 DS の企画・運営
- ②市民向け講習会（開催地の地盤工学会支部と連携）・・・中止の見込み

**3. 地盤品質に関する展示会、地盤相談会等の開催および支援**

**I 地盤相談会の開催**

- ①個人対象一宅地地盤相談会（開催地の地盤工学会支部と連携）・・・中止の見込み
- ②ホームページの宅地地盤相談フォーム運用・管理
- ③有料相談・無料相談

**4. 地盤品質に関する出版、技術開発・研究開発の推進及び支援**

- ①技術指針の企画立案・研究

**5. 災害時対応**

- ①災害対応規定の策定・災害協定への対応
- ②災害情報収集
- ③災害調査団の結成
- ④調査費用調達（寄付金／有料報告会開催）
- ⑤災害調査の実施
- ⑥災害報告会（無料・有料）

**6. 一般社団法人地盤品質判定士会の充実**

**I 地域連携**

- ①支部の創設：中部支部、中国支部、東北支部、北海道支部、九州支部
- ②地方公共団体との交流（大阪府／千葉県／札幌市／熊本市／横浜市／川崎市／逗子市／葛飾区 等）
- ③相談会等の実施（地方公共団体、自治会、市民）
- ④支部担当研修会の実施

第3号議案 2021年度 収支予算（定款第14条）

2021年度 収支予算（案）

区分	項目	2020年度 決算	2021年度 予算	増減	内 訳
収入	<b>1. 事業費</b>				
	(1) 技術推進事業				
	①年次活動報告会	896,000	700,000	-196,000	地盤品質セミナー(7,000×100名)、JGS大会DS
	②技術講習会・講演会	965,000	1,840,000	875,000	受験2回(630,000)、宅地(450,000)、神奈川(200,000)、中部(560,000)
	③相談員研修会(一般/公共)	702,000	740,000	38,000	神奈川(60,000)、関西支部(280,000)、本部(一/公400,000)
	④判定士補受験要件付与講習会	0	888,000	888,000	1次試験受験要件付与講習会(14,800×60名)(技)
	⑤共催講習会(収益折半受領)	101,838	70,000	-31,838	JGS関西支部と共催[宅地地盤の品質に関する技術講習会]
	⑥災害調査報告	0	0	0	
	(2) 受託事業				
	①個人相談	697,550	900,000	202,450	神奈川(600,000)、関西(100,000)、本部(200,000)
	②地方公共団体受託事業	242,000	2,040,000	1,798,000	葛飾区液状化対策相談会(技)、宅地耐震受託(900,000×2件)(宅)
	(3) 販売事業				
	①保安用具製作	540,000	500,000	-40,000	保安用具製作(総)
	<b>2. 広告</b>				
①協賛広告	330,000	330,000	0	地盤品質セミナー-広告(広)	
②HPバナー広告	0	90,000	90,000	10,000×3カ月×3社(広)	
<b>3. その他</b>					
①支部財産移動	152,783	0	-152,783	神奈川支部の残余財産の本部口座移動	
②利息	10	0	-10		
小計	4,627,181	8,098,000	3,470,819		
<b>4. 繰越金</b>					
	1,400,634	1,885,090	484,456	法人化前残余財産・支部預り金(関西:172,275、神奈川:355,950)	
計	6,027,815	9,983,090	3,955,275		
支出	<b>1. 事業費</b>				
	(1) 人件費				本部研修(100,000)、神奈川(165,000)、関西(100,000)、中部(126,000)
	①講師謝金	311,216	923,000	611,784	付与(80,000)、受験(100,000)、宅地(120,000)、セミナー(132,000)
	②相談謝金(個人)	703,868	720,000	16,132	神奈川(480,000)、関西(80,000)、本部(160,000)
	③受託謝金(地方公共団体)	159,290	1,420,000	1,260,710	葛飾区液状化(160,000)、宅地耐震(630,000×2件)
	(2) その他経費				
	①広告宣伝費(広報費)	825,550	400,000	-425,550	HP更新(200,000)、保守(105,600)、印刷(90,000)
	②支部支援費	44,185	400,000	355,815	中部・中国支部HP制作(220,000)、中部総会(42,000)、外部発表登録費(51,000)(神)、予備(87,000)
	③通信費	146,173	380,000	233,827	DM費・郵送料(85,000)、Zoom(85,000)、共有サーバ(198,000+10,560)
	④会議室使用料	29,330	150,000	120,670	JGS会議室、貸会議室
	⑤旅費交通費	10,310	100,000	89,690	本部(50,000)、支部(50,000)
	⑥雑費	86,536	400,000	313,464	事務消耗品、名刺作成他、受験要件付与講習会テキスト代(288,000)
	⑦支払手数料	50,930	60,000	9,070	振込手数料
	⑧委員会・部会運営費	383,440	600,000	216,560	保安具製作((総)350,000)、宅地耐震活動費(250,000)
	⑨納税	159,243	400,000	240,757	謝金等納税(250,000)、2020年度未払法人税等(143,700)
	⑩予備費	0	100,000	100,000	総務予備費(36,000)、災害対応含む
	<b>2. 管理費</b>				
①事務局経費	951,700	1,262,000	310,300	JAGE経費(月額100,000)、WEB口座手数料(3,300/月)、神奈川(月額22,000)	
②支払報酬(会計士)	280,954	240,000	-40,954	月額20,000(税込):半期119,748×2	
③支払報酬(顧問弁護士)	0	240,000	240,000	月額20,000(税込):半期119,748×2	
計	4,142,725	7,795,000	3,652,275		
収支	次年度繰越金	1,885,090	2,188,090	303,000	